

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
治燥剂 軽宣潤燥剂 3		
ぎょうかとう 翹荷湯	清透燥熱	薄荷・連翹各 4.5g・生甘草 3g・黒梔皮 4.5g・桔梗・緑豆皮各 6g 水煎し服用する。
温病条弁	<p>主治は、温燥上擾清竅による発熱、口鼻の乾燥、耳鳴、目の充血、歯齦の腫脹疼痛、咽痛、舌苔が薄黄で乾燥、脈が数などの症候。</p> <p>温燥の邪が肺胃気分に侵入し、化火して清竅を上擾した病態である。</p> <p>軽清宣透の薄荷・連翹、清熱瀉火の黒梔皮、清熱解毒の緑豆皮、清熱利咽、止痛の桔梗・生甘草を用い、燥熱を宣散涼解する。</p>	